

事業番号	210
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	子ども会活動支援事業						担当部	こども未来部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	こども政策課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		13 子育て支援		2 地域の子育て・子育てを支援します				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	3	目	1	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	地区の単位子ども会活動を活性化することで、市子連への加入団体の増加を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 単位子ども会活動の振興を図るため、子ども会活動に補助金を交付し、世話人研修会、こまキッズフェスタ、単位子ども会活動の活性事業等を実施した。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 イベントによる講師謝礼(665千円) 消耗品費(94千円) バス借上料(300千円) 子ども会連絡協議会補助金(1,827千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 イベントによる講師謝礼(723千円) 消耗品費(100千円) バス借上料(314千円) 子ども会連絡協議会補助金(1,935千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,547	2,726	2,886	3,072	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	263	263	263	263
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,810	2,989	3,149	3,335		
	対前年比	%		78.4	105.3	105.9		
財源	一般財源	千円	3,810	2,989	3,149	3,335		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	子ども会連絡協議会開催数	回	目標	23	23	23
実績				26	26	24	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
こまキッズフェスタ入場者数	人	目標	3,000	4,000	4,000	3,000	
		実績	4,000	2,500	2,000		
単位子ども会数	単子	目標	60	60	60	60	
		実績	57	56	54		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	こまきッズフェスタ入場者数は、24年度同様、天候に恵まれず目標値を達成することはできなかった。しかし、ジュニアリーダーの成果発表の場としてブース運営など、活躍の場が設けられるなど、青少年の健全育成を図ることができている。	
		事業実施における課題	単位子ども会の市子連離れは、会の運営上も大きな課題となっている。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業廃止をすることで、市内の子ども会活動は衰退する。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引き続き、他市の状況も踏まえた活動のあり方について、市子連と協議・検討を行っていく。また、市子連からの要望が強い「単子活性化を目的としたバスの借上台数の増加」について、引き続き、行政バス管理課と調整を行う。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	市子連の役員の負担軽減については、イベントの共催をはじめ、児童館臨時職員の配置など、各種手段を講じている。しかし、現状以上の経常的な経済支援の拡大は困難であり、現状維持とする。		
	27年度以降の改善案	役員の負担軽減として行っているイベントの共催をはじめ、市子連を担当する臨時職員の配置を引き続き行い、現状維持を目的として支援に努める。また、他市の状況も踏まえた活動のあり方について、市子連と協議・検討を行っている。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 市子連へ加入する単位子ども会数が減少傾向にあることから、増加に向けた取り組みについて市子連と協議すること。